

科目名	情報リテラシー実践 A	A0418	基礎科目群	単位数	2	特別申請科目
担当教員		後期				
科目ナンバリング 2018年度以降入学生対象	GAB-201-1：全学共通科目					
授業方針・テーマ	実践的な課題を通して、統計学の基礎に基づくデータ分析と、データベースの活用に取り組む。					
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器の使い方を理解し、具体的な課題解決の場面で情報を収集、分析、判断、編集、発信、共有することができる（幅広い教養としての知識・理解、情報活用能力） ・統計学の基礎を理解し、統計解析ソフトウェアによるデータ分析に取り組むことができる（専門分野の基本的な知識・理解及び技術、総合的問題思考力） ・データの特徴を明らかにするために、さまざまな分析方法を試行錯誤する姿勢を備えている（専門分野の基本的な知識・理解及び技術、能動的学修姿勢） 					
授業計画・内容 授業方法	<p>オンライン授業（リアルタイム授業とオンデマンド授業の両方を含む）での実施となるが、詳しくは担当教員からの指示に従うこと。</p> <p>統計学の基礎とデータ分析</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報倫理講習会、授業ガイダンス、統計解析ソフトの紹介 2. 統計学についての基礎知識（データの種類、基本統計量、度数分布、ヒストグラムなど） 3. 母集団と標本（平均・分散の推定、正規分布、t分布など） 4. 平均値の差の検定(1)（対応のあるデータについてのt検定） 5. 平均値の差の検定(2)（対応のないデータについてのt検定） 6. 独立性の検定 7. 比率の差の検定 8. 相関分析 9. 回帰分析 10. 課題提出のための実習 <p>データベース</p> <ol style="list-style-type: none"> 11. データベースの特徴（表計算ソフトとの違い） 12. データベースの機能(1)（テーブル、フォーム） 13. データベースの機能(2)（レポート、クエリ） 14. データベースの機能(3)（リレーションシップ） 15. まとめ 					
授業外学習	<p>eラーニングシステム上のコースウェアや、担当教員が公開する資料などを用いて、予習や復習、課題への取り組みを十分に行うこと。</p> <p>オンライン授業の実施に伴い、メッセージや掲示板等を活用する場合もあるため、以下のウェブサイトより「kibaco 利用ガイド」を確認すること。 http://www.comp.tmu.ac.jp/e-learning/kibaco_guide.html</p>					
テキスト・参考書等	<p>eラーニングシステム「kibaco」上に、標準コースウェアおよび各種コンテンツを設置する。 クラスによっては担当教員から別途、指示される場合がある。</p>					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への積極的な参加、提示される課題や発表などの観点に基づき、総合的に評価する（担当教員により若干異なる場合がある） ・授業への積極的な参加は、さまざまなデータ分析を試行錯誤する姿勢によって評価する（専門分野の基本的な知識・理解及び技術、能動的学修姿勢） ・課題や発表については、ICTを活用した課題解決や統計解析ソフトウェアによるデータの統計分析に主体的に取り組んでいるかどうかを評価する（幅広い教養としての知識・理解、情報活用能力、専門分野の基本的な知識・理解及び技術、総合的問題思考力） 					
質問受付方法 (オフィスアワー等)	担当教員により異なるため、授業ガイダンスの際に提示する。					
特記事項 (他の授業科目との関連性)	<p>前期の情報リテラシー実践ⅠまたはⅡAの内容を十分に理解していること。</p> <p>本授業ではMicrosoft Excelを主に使用するが、一部のクラスでは無料で使用できるその他の統計ソフト等を導入する場合がある。</p>					